

ニュースレター



NPO法人

あきたパートナーシップ

Vol. 72

発行日 2009. 11. 13

編集 NPO法人

あきたパートナーシップ事務局

連絡先 TEL 080-5566-6238

FAX 018-829-5803

「^{ひいらぎ} 柎の葉の間より 花こぼれ (高浜虚子)」柎の葉は固くギザギザとしてさわると痛い。しかし老木になるとこの葉も丸くなるとか。まるで人生そのもの？冬がそこまで来ていますが、寒さで背中が丸くならないようにしましょう。

「家族で農業体験」収穫体験・感謝祭

「家族で農業体験」とは、地域のリーダーが講師となり、一般市民の家庭を対象にした農作業体験講座を開催することで地域の連携と活性化をめざす自主事業です。10月17日(土)に収穫体験・感謝祭が行われました。

9:30~11:00 収穫体験

秋晴れに恵まれ、上北手地区の6ヶ所の畑で大きくなった大根・白菜などの収穫体験をしました。

8月下旬に植え付け作業・9月中旬に草取りなどの作業をして収穫をむかえることができました。畑によっては収穫時期を少し遅らせることにした所もあり、野菜づくりの難しさも知ることができました。

11:00~15:00 収穫感謝祭

遊学舎の食工房に移動し、2歳から10歳までの子どもを含む参加者全員で、だまこもちとおでんを作り、収穫に感謝しながら昼食をいただきました。

食事の後、「ぼくのわたしの自慢の野菜」と題して、採りたて野菜の紹介と体験したエピソードなどを発表し、世代を超えた交流の場になりました。

8月17日の顔合わせ会からの参加延べ人数は105名です。

こんな大きい野菜が収穫できました！



だまこもち作りは楽しいね。



わたしたちの自慢の野菜です。



お世話になっています



新聞の切り抜きの様子。高橋理事、職員
の石井さんも同席して歓談しながら作業
をすすめています。

遊学舎には、25人のボランティアさんが登録
(代表 関新蔵さん) しています。そのボランテ
ィアさんには、遊学舎の案内・ふれあい広場の花
の手入れ、木工機械の整備や、使い方の指導・図
書の整理・新聞の切り抜き・かだれ発送など多岐
にわたってお手伝いをいただいています。

悪天候の時でも時間を割いて来て下さるボラ
ンティアさん、ありがとうございます。

助成金申請支援セミナー

11月6日、遊学舎で日本財団の荻上健太
郎氏を講師に、助成金申請セミナー（県の
委託事業）を開催しました。23団体40名
の参加があり、前半の「助成金申請のコツ」
の講義では「自分の団体の目指すことと、
助成する側の思いが一致するところを見極
めることが大切だ」ということを学び、後
半は実際にスギッチファンドの申請書を使
って記入し、審査員の立場の模擬体験をし
ました。参加者からは、大変わかりやすく
「とても参考になり、ヒントをたくさんも
らえました。またやってほしい」との意見
が多くでした。



助成金セミナーの様子。熱心に聞いていました。

これからの自主事業

内 容	日 時	場 所
第4回患者塾・遠慮しないでお医者さんに聞いてみよう 「前立腺がん・子宮がん」 話題提供・アドバイザー	12月6日（日） 13:30～16:00	サンパル秋田
市立秋田総合病院院長 佐々木秀平先生 産婦人科杉山医院院長 杉山好廣先生 寺田内科医院院長 寺田俊夫先生		